

ソリック電子ドア

取扱説明書

オートロック

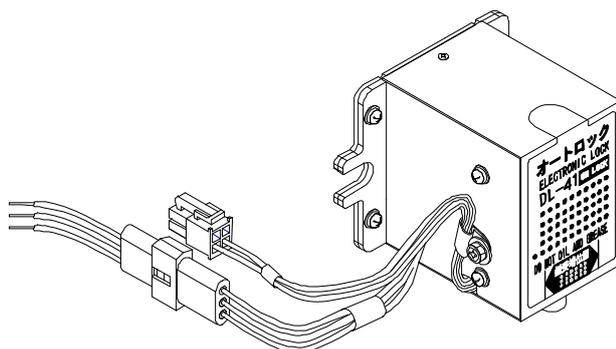
DLR-41 UN型 (停電時解錠型)

L型 (停電時施錠型)

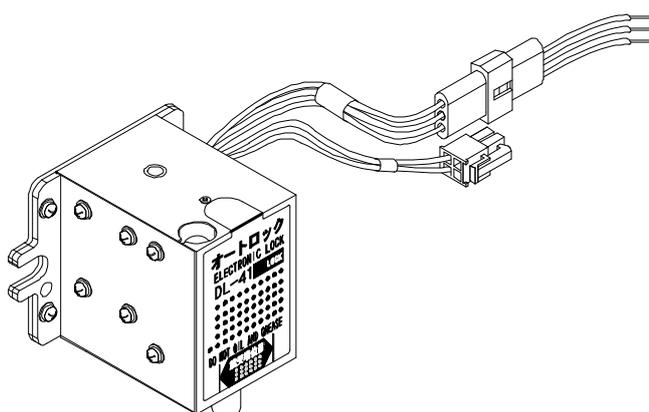
停電時手動解錠装置付

オートロック本体の詳しい取扱説明書もご用意しております。  
必要の際はご連絡をお願いします。

●DLR-41UN



●DLR-41L



**Solic**

株式会社 ソリック

S O L I C C O . , L T D .

# 目 次

1. 特 長	1 ~ 2
2. ご注文前のご確認とご参考に	3
3. 主要部品配置図	4
4. 施錠方式の区別について	5
5. 本体外形図と動作	6 ~ 7
6. 使用工具	8
7. 取付方法	8 ~ 9
8. 注意事項	10
9. 手動解錠装置 部品リスト	11
10. 機種別取付図	
- 1. EB、BCタイプ (BA、BB、CN、CC、BG、CN、BWも同様要領です)	12
- 2. FC、FDタイプ	13
- 3. DRタイプ (引分)	14

## 1. 特 長

『電子オートロック：DL-41』は、停電時解錠型、停電時施錠型をシリーズ化。マンション・エントランス部の居住者や訪問者の管理をはじめ、銀行・金融機関の自動ドアやコンピューター室、各種研究機関など、プライバシーの保護や機密保持が求められる出入口で、自動ドアと連動し重要部を守る、セキュリティシステムのためのロック装置です。

本装置の大きな特長は、自動ドア用コントロールボックス：HM-K、HP-Hシリーズのロック制御回路にダイレクトに接続することで、施錠・解錠がドアの動作と連動可能になり、各装置間のその他の配線・結線作業が不要となりました。

また、バッテリー：BU-21とのシステム構成による連続開閉の実現や、解錠確認スイッチを内蔵するなど新規性の追求、コンパクト化や吊元位置の改善、動作音の低減化、取付けの確実性と信頼性の向上を図ったことも、従来型のオートロックシリーズとの大きな相違点です。

DL-41の開発にあたり、「停電時手動解錠装置」も2タイプをオプション品として標準化し、代理店様の選択肢を広げましたので、是非お客様へのご提案・ご検討をお願いいたします。

### 1. 停電時解錠型 UN用

従来型には設定のなかった停電時解錠型にも、より安全性を高める装置として、専用の手動解錠装置を簡単に組み込み出来る機構にしております。

通常、停電時（非通電時）にロックは解錠状態になり、全閉しているドアは手動で開閉することができますが、シャフトが上がらない（解錠しない）など万が一の場合に備えて、専用の手動解錠装置を組み込み、末端のグリップを引くことでシャフトを上げ、解錠状態にすることができます。

シャフトが上がれば、ドアは手動で開（閉）動作が可能です。

### 2. 停電時施錠型 L用

停電時施錠用の手動解錠装置も、即納に備えて簡単に組み込み出来る機構にしております。全閉しているドアは停電時（非通電時）にはロックは施錠状態になり、手動で開閉することができません。

専用の手動解錠装置を組み込むことにより、末端のグリップを引くことでシャフトを上げ、解錠状態にすることができます。

シャフトが上がれば、ドアは手動で開（閉）動作が可能です。

グリップから手を離すとシャフトが下がり、施錠待機状態になります。

### 3. 組込が容易です

即納への対応と各部への組込みを容易にするため、ワンタッチ化による組込方式の改善およびUN、L、31L用としても主要部品類を共用しております。

また、取付先での作業性向上の為、部品点数を最小限にするなどの合理化を図っております。

#### 4. ワイヤーの耐久性向上を図りました

41本体からのワイヤーを引出す場合、本体側の特殊樹脂キャップ内を通して90°方向を変えます。

また、ワイヤーケーブル押え金具に組込むワイヤーカラーも特殊樹脂に変更しました。この様に、ワイヤーを通す部品の材質を変更した事により、ワイヤーの摺動耐久性が向上しました。

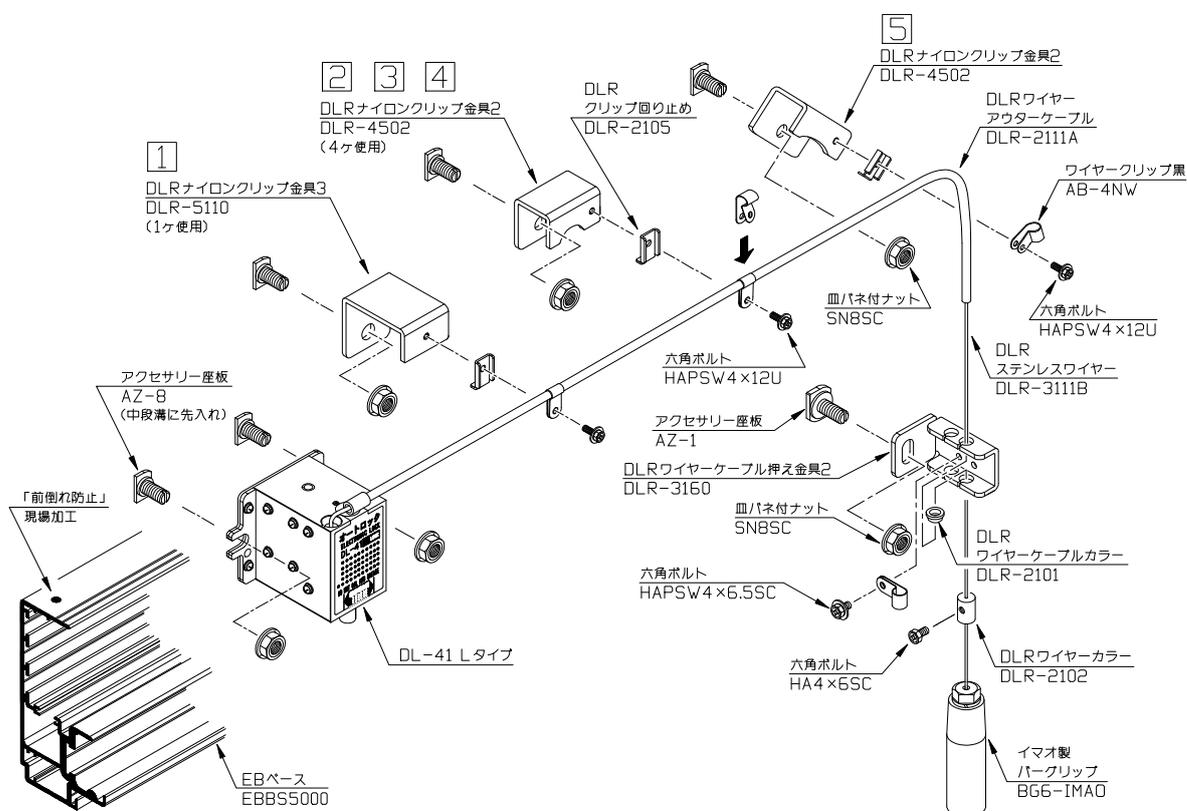
#### 5. ワイヤーの長さを2種類標準化しました

従来DL-31の場合ワイヤーの全長は3500mmで、DW1219×DH2438のドアにて、グリップがFLより1500mmの位置になる長さを標準としていましたが、DL-41ではこの他に二重引戸等の間口の広いドアにも対応できる様、5000mmも新規に標準化しました。

ドア幅・DW、ドアストローク・DS、ドア高さ・DHおよびグリップ位置は操作上支障のない寸法をご確認の上ご注文願います。

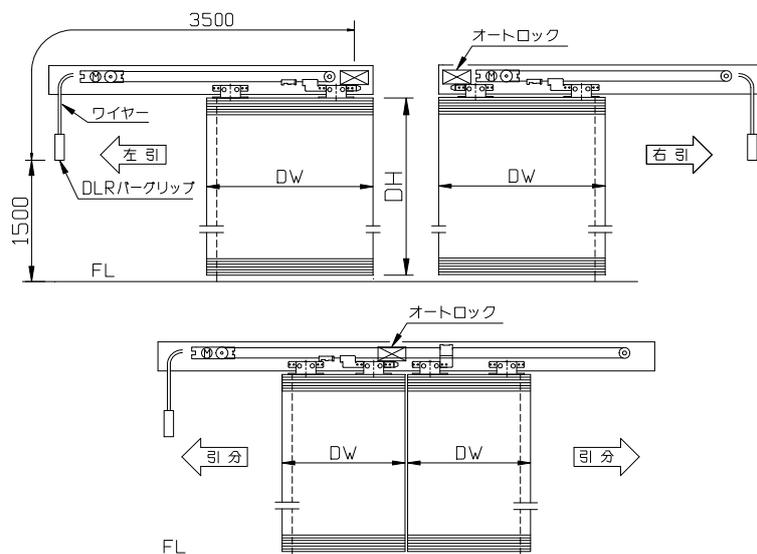
特にご指定がなければ3500mmで組込・出荷いたします。

#### 6. EB、BCタイプ取付図例



## 2. ご注文前のご確認とご参考に

### ● ドアの勝手とオートロックの位置



### ● 手動解錠説明シール

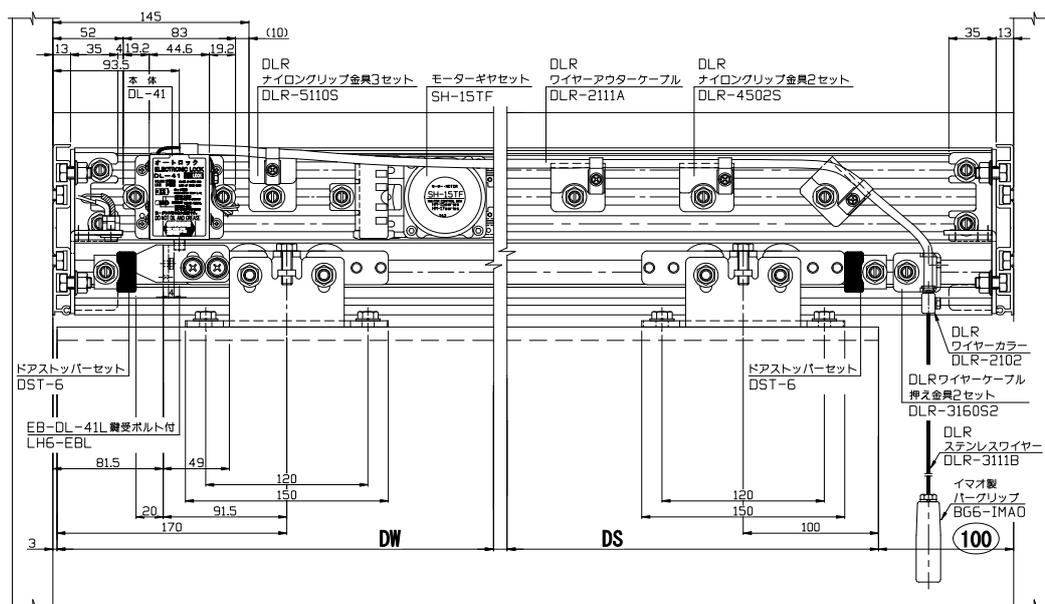
「グリップ」側のエンジンカバーの見やすい位置に貼って下さい。

#### 自動ドアの停電時開閉について

グリップを引きながら同時にドアを手で開いて下さい。

〔グリップを離し、ドアを閉じると自動的に施錠します。〕

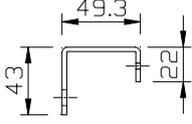
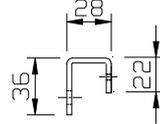
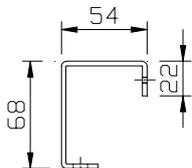
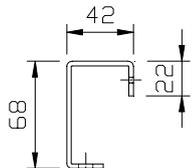
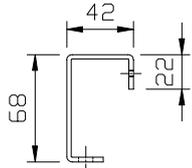
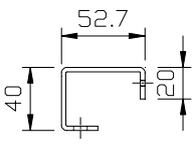
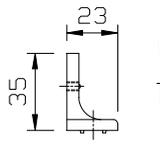
### ● EBベース 右引の配置例 (DL-41Lタイプ)

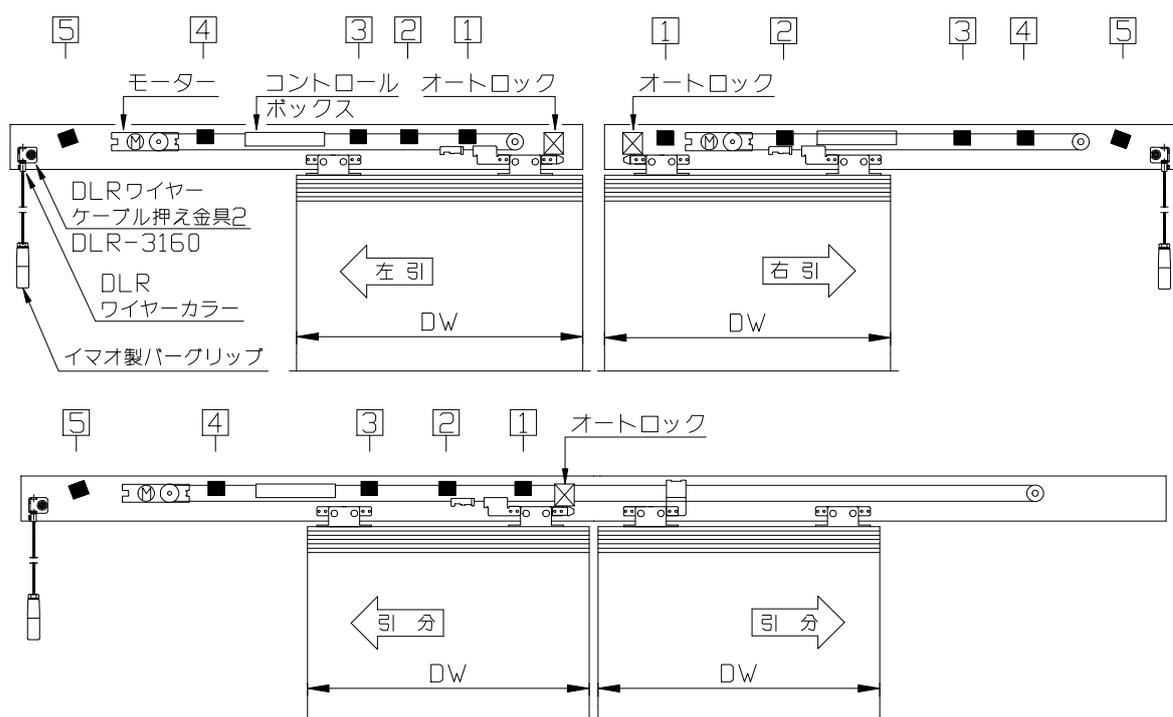


- 1) 手動解錠装置を取付ける場合、上図の様にDS（ドアストローク）寸法プラス（100）mmの余裕が必要です。各機種によって異なりますので取付図をご参照の上お打合せ願います。
- 2) 「グリップ」はドアの引込み側の無目内から出るようにして下さい。  
エンジンセットでご注文の場合は弊社で組込んで出荷いたします。
- 3) ワイヤーの全長3500mmはDW1219、DH2438のドアにてグリップがFLより1500の位置になる長さを標準としています。
- 4) 二重引戸等、開口部等が広い場合を想定し、ワイヤー全長5000mm品も標準品として用意しております。  
特にご指定がなければ3500mmで組込・出荷いたします。
- 5) いずれの場合もグリップ高さ等、操作性をご配慮の上ご注文をお願いします。

### 3. 主要部品配置図

ケーブルを取付けるDLRナイロンクリップ金具は各ベース、レールにより形状が異なります。又、各 **①** の金具はオートロック本体から出ているワイヤー芯に合わせた寸法になっていますので、下図をご参照の上取り付け願います。

ベース・レール	①	品名 規格	個数	② ~ ⑤	品名 規格	個数	
BA CC BB BG EB CN BC BW		DLRナイロン クリップ金具3 DLR-5110	1		DLRナイロン クリップ金具2 DLR-4502	4	
FC	片引		DLRナイロン クリップ金具FCFD用2 DLR-4106FCFD2	1		DLRナイロン クリップ金具FCFD用 DLR-4106FCFD	4
	引分	右図品を5個使用します。		—		DLRナイロン クリップ金具FCFD用 DLR-4106FCFD	5
DR	引分		DLRナイロン クリップ金具DR用 DLR-5112DR	1		DRベルト受けブラケット5 加工品 DR-BBK5-DLR01	4

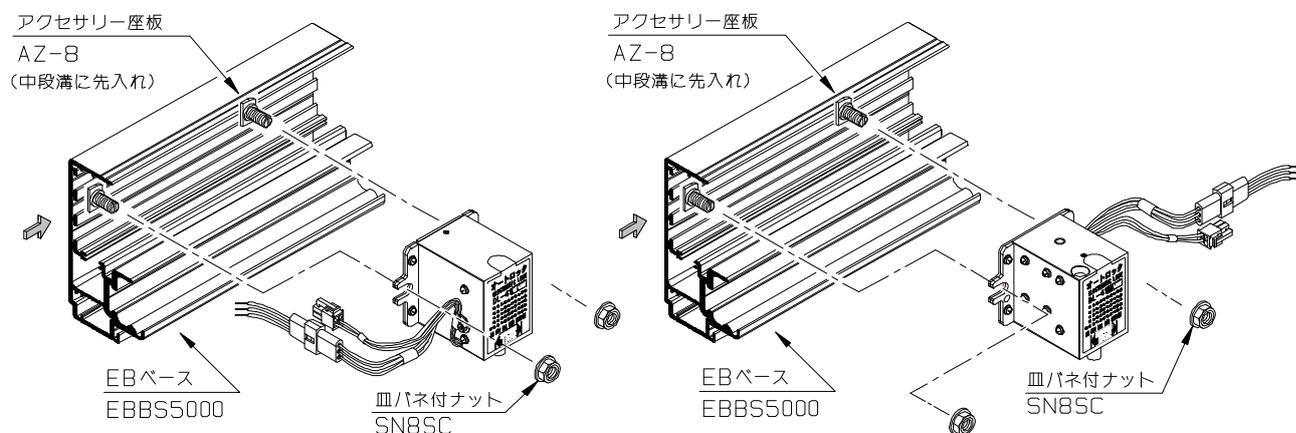


## 4. 施錠方式の区別について

下図は手動解錠装置が付属していない状態です。

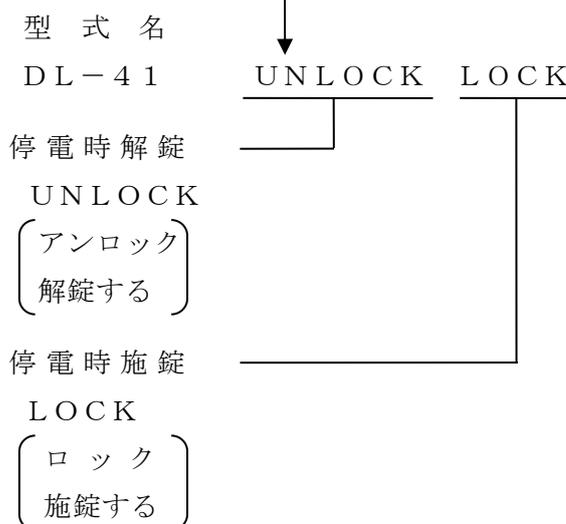
●解錠型 DL-41UN 本体

●施錠型 DL-41L 本体



### 1. シール表示について

いずれかの記号で表示



### 2. ご注文について

左引、右引、引分の区別と停電時解錠型、施錠型のご指定をお願いします。

施錠型はコントロールHM-15K3、HP-17H2、HP-23H2に適合します。

吊元や鍵受金具等も異なりますので、同品の取扱説明書をご参照ください。

例

EB 23H 23H D (P) L =

ベース モーター コントロール 勝手 コーナー 全長  
(引分) ピース付

DLR-41UN 組込み・停電時手動解錠装置付

オートロック 解錠型

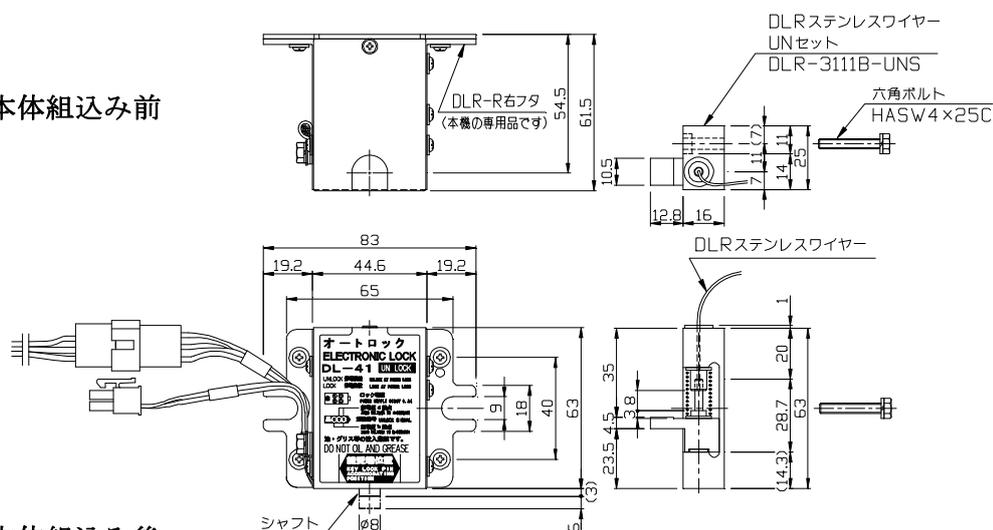
取付け先での組込み時間を簡略化するため、原則としてアフターなどのサービス用や単品でのご注文以外は、弊社でエンジンベースに組込み・結線・動作テストして出荷いたします。

## 5. 本体外形図と動作

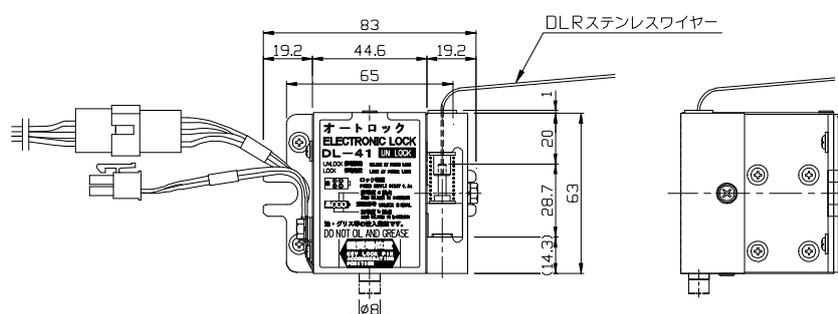
### 1. 停電時解錠型の場合

停電時（非通電時）にロックは解錠状態になり、全閉しているドアは手で開閉することができますが、シャフトが上がらない（解錠しない）など万が一の場合に備えて、専用の手動解錠装置を組込み、末端のグリップを引くことでシャフトを上げ、解錠状態にすることができます。シャフトが上がれば、ドアは手で開（閉）動作が可能です。

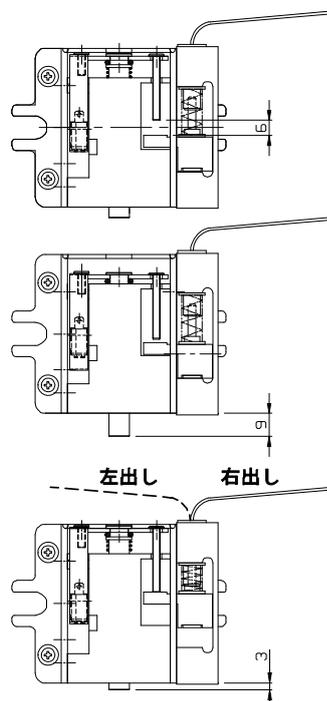
#### ● 本体組み込み前



#### ● 本体組み込み後



### 2. 動作



1) 通常はストローク・6 mmで上下動作します。

2) シャフトが上がらない場合



3) 手動解錠装置を操作します。

- ① グリップを引きます。  
（勝手によって方向が異なります。）  
② シャフトが上がります。

### 3. 停電時施錠型

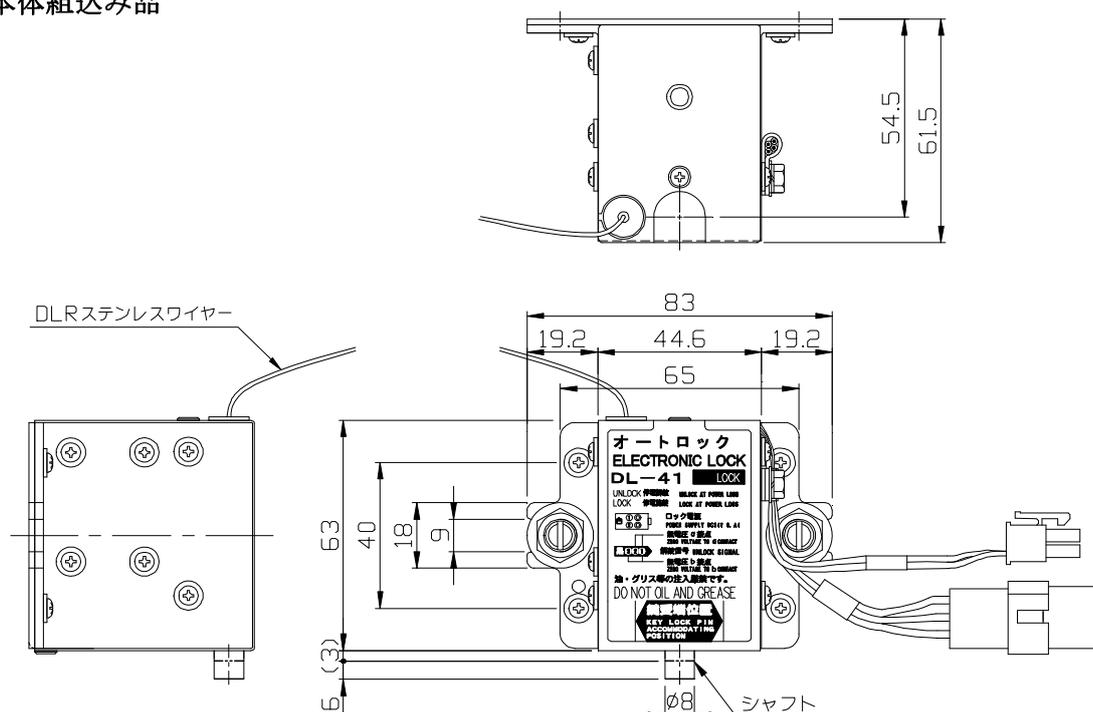
停電時（非通電時）にロックは施錠状態になり、全閉しているドアは手動で開閉することができません。

専用の手動解錠装置を組込むことにより、末端のグリップを引くことでシャフトを上げ、解錠状態にすることができます。

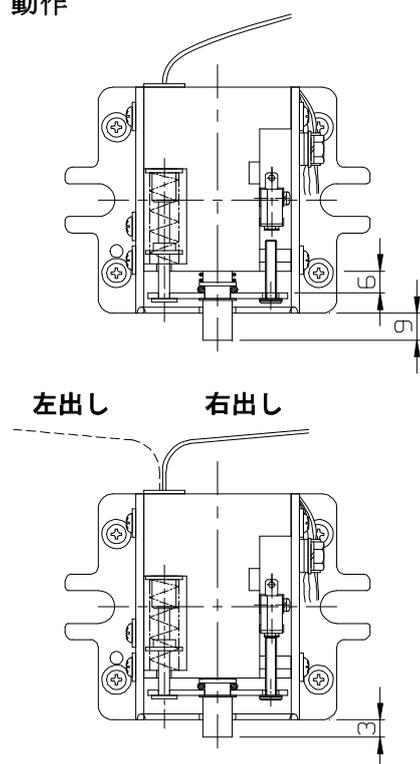
シャフトが上がれば、ドアは手動で開（閉）動作が可能です。

グリップから手を離すとシャフトが下がり、施錠待機状態になります。

#### ● 本体組み込み品



### 4. 動作



1) 通常はストローク・6 mmで上下動作します。

① → 引く  
↑  
② 上がる

2) 手動解錠装置を操作します。  
① グリップを引きます  
(勝手によって方向が異なります)。  
② シャフトが上がります。

## 6. 使用工具

使用する工具は下記のとおりです。

- 1) 対辺 13 mm ボックスドライバー  
M8 タイプ アクセサリー座板：AZ-8 や、M8 ボルト・ナット用
- 2) 対辺 7 mm ボックスドライバー、同寸スパナ  
M4 ビス用
- 3) プラスドライバー、全長 35 mm 以下のプラスショートドライバー、マイナスドライバー  
各部調整用
- 4) ニッパー  
配線切断作業用
- 5) ビニールテープ  
結線作業用
- 6) 丸ヤスリ  
ワイヤーケーブル切断部内径仕上げ用

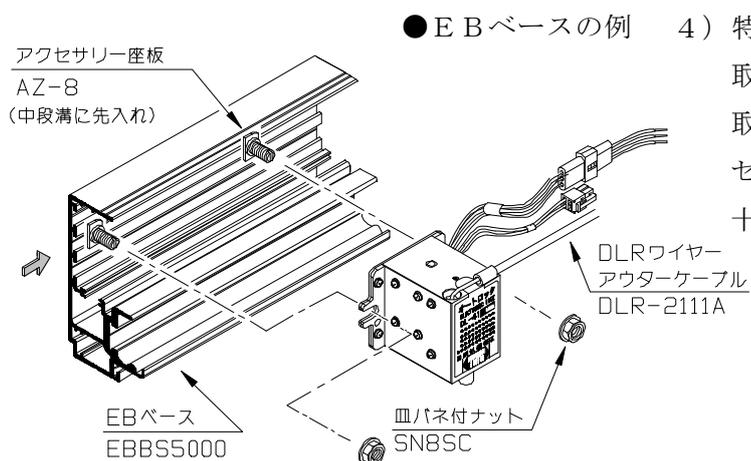
## 7. 取付方法

ドアの建付け調整完了後、ベース又はレールのフリースライド溝を利用して先入れした、M8 タイプのアクセサリー座板：AZ-8 に、DL-41 本体を組込みナットで仮締めします。

次にドア側に取付けられた背板ユニットの中間板の M8 タップを利用し、鍵受金具を M8 ボルトで仮締めし、本体を左右にスライドさせシャフトのクリアランスを決めたのち、本体及び鍵受金具を本締めします。

### 1. 本体の取付け

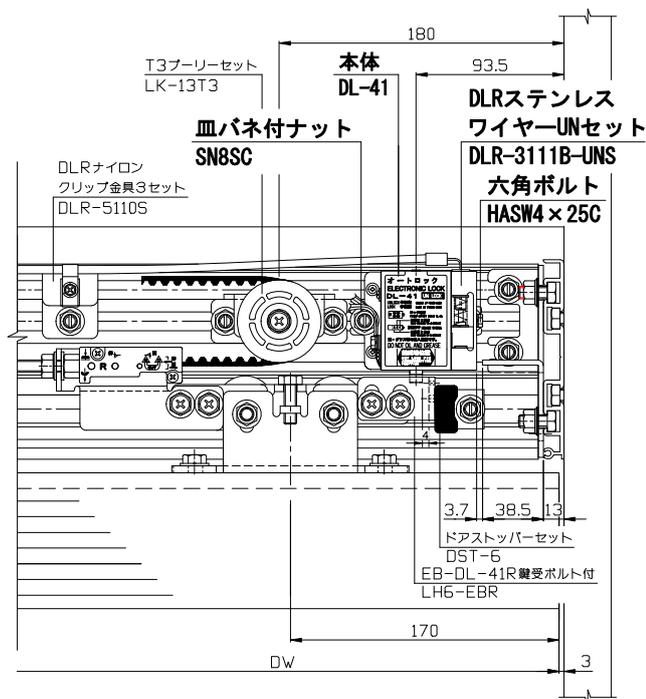
- 1) BC ベースなど、片引で両側にドアストッパーを必要とするベースの場合、ドア全閉位置でドアストッパーをしっかりと固定してください。
- 2) ベースのフリースライド溝（中段）に先入れしたアクセサリー座板：AZ-8 に本体を合わせ、本体が落下しない程度で力でナットを仮締めしてください
- 3) 機種によって取付方法が異なりますので、詳しくは機種別の取付図（A3）をご参照ください。



- 5) UNタイプは下図のように、DLRステンレスワイヤーUNセット右横のM4六角ボルトをゆるめ、同セットを取外してから本体と鍵受金具を位置決めした後、皿バネ付ナットで本体を固定し、再度同セットを取付した方が作業しやすい場合があります。

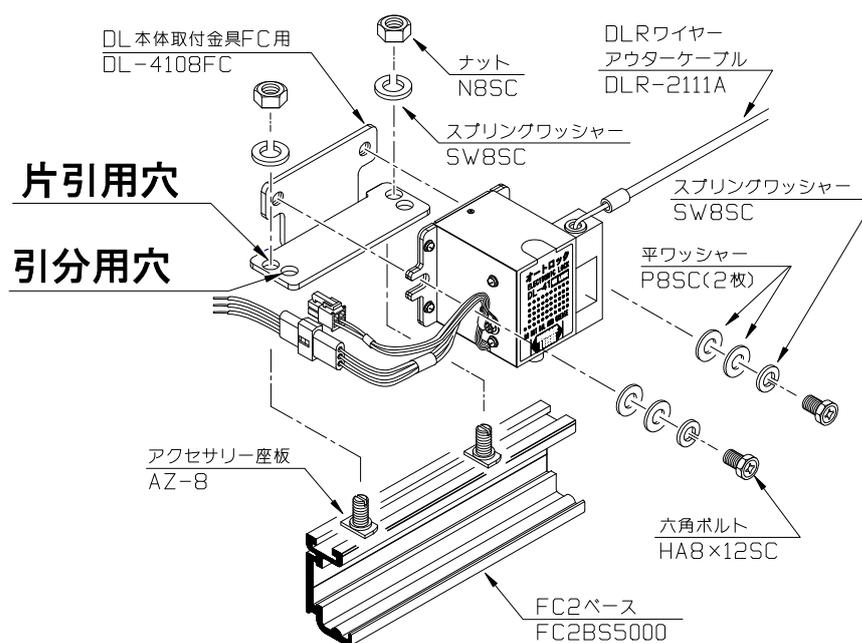
M4六角ボルトには全長35mm以下のプラスショートドライバー、又はM4用の対辺7mmスパナを事前にご用意ください。

● EBベース 左引の場合



- 6) FC、FDレールの例

それぞれ片引、引分ではレールへの取付穴が異なりますのでご注意ください。



- 7) 鍵受金具等の取付についてはDL-41UN/L本体取付説明書をご参照ください。

## 8. 注意事項

1. 本装置は無給油タイプです。シャフトなどの動作面は高精度に仕上げており、ここにグリスなどを注油されると、ごみやほこりが付着しタール状になり、解錠しない、施錠しないなど動作不良の大きな原因となりますので、これらの注入は絶対にやめてください。
2. 本体に付属しているリード線を持つての持運びは、断線や落下の原因となりますので十分ご注意ください。
3. 各部のビス、ボルト、ナット類はしっかりと締付けてください。
4. 消音対策として、シャフト部分に緩衝ゴムなどを取付けられますと、吸引・保持力に影響し、正常な動作を行いませんのでご注意ください。
5. 落下などの衝撃を与えないでください。
6. 正規の取付け方以外での方法はやめてください。
7. 防犯等、厳密な施錠が必要な場合は、シャッターやシリンダー錠などを併用してください。
8. 本装置の用途はあくまでも補助的錠前であり、盗難を防止するものではありません。
9. 以下に起因する使用方法過誤による不作動、強力な物理的圧力などによる破壊、損害、挽失利益、または第三者からのいかなる請求に関しては、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

万が一発生した盗難・災害・事故・人身被害および機器のご使用方法の誤り、改造による不具合や故障・保守点検の不備、天災地変・注意事項に反した取扱いなどによって生じた故障については保証できません。

## 9. 手動解錠装置 部品リスト

### 〈DLR-41手動解錠装置〉

#### 部品と対応機種一覧

##### 1. 本体部の部品を含むUN・L基本セット

L・R基本セット				対応機種				備考	
商	品	名	商品規格	数量	標準	FC・FD 片引	FC・FD 引分	DR-D 引分	
1	D L R	ワイヤーガイドキャップ	D L R・4503	1					1
2	D L R	ワイヤースプリング	D L R・4501	1					2
3	D L R	ワイヤー端末金具 (支給品)	D L R・3110	1					3
4	D L R	ステンレスワイヤー	D L R・3111B	1					4
5	D L R	ワイヤーアウターケーブル	D L R・2111A	1					5
6	D L R	ナイロンクリップ金具2	D L R・4502	4					6
7	D L R	クリップ回り止め	D L R・2105	5					7
8		ワイヤークリップ黒	A B・4N W	6					8
9	D L R	ワイヤーケーブル押え金具2	D L R・3160	1					9
10	D L R	ワイヤーケーブルカラー	D L R・2101	1					10
11	D L R	ワイヤーカラー	D L R・2102	1	○	○	○	○	11
12	D L R	ミニロック	D L R・2112	1					12
13		イマオ製バーグリップ	B G6・I M A O	1					13
14	D L R	ナイロンクリップ金具3	D L R・5110	1					14
15		六角ボルト+U P・平・S W付ユニクロ	H A P S W 4×12 U	5					15
16		六角ボルト+U P・平・S W付三価クロメート	H A P S W 4×8 S C	1					16
17		六角ボルト+U P三価クロメート	H A 4×6 S C	1					17
18		皿バネ付ナットM 8 三価クロメート	S N 8 S C	1					18
19		アクセサリー座板	A Z・8	5					19
20		アクセサリー座板	A Z・1	1					20
21		貫通穴付六角ボルト	R C B A S 6・8	1					21
22		スプリングワッシャーM 6 ステン	S W 6 S	1					22

※ 基本標準機種：BA・BB・EB・BC・CC・BG・CN・BW

##### 2. 基本セット以外の部品

L 専用部品				対応機種				備考	
商	品	名	商品規格	数量	標準	FC・FD 片引	FC・FD 引分	DR-D 引分	
1	D L R	Lワイヤーガイドパイプ	D L R・4105	1	○	○	○	○	本体組込品 1

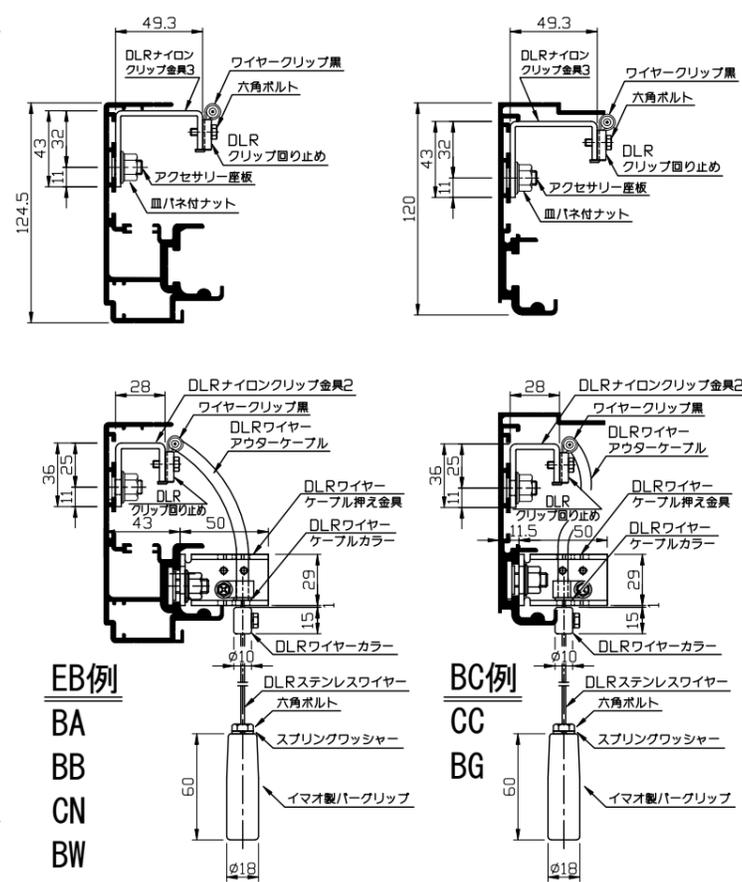
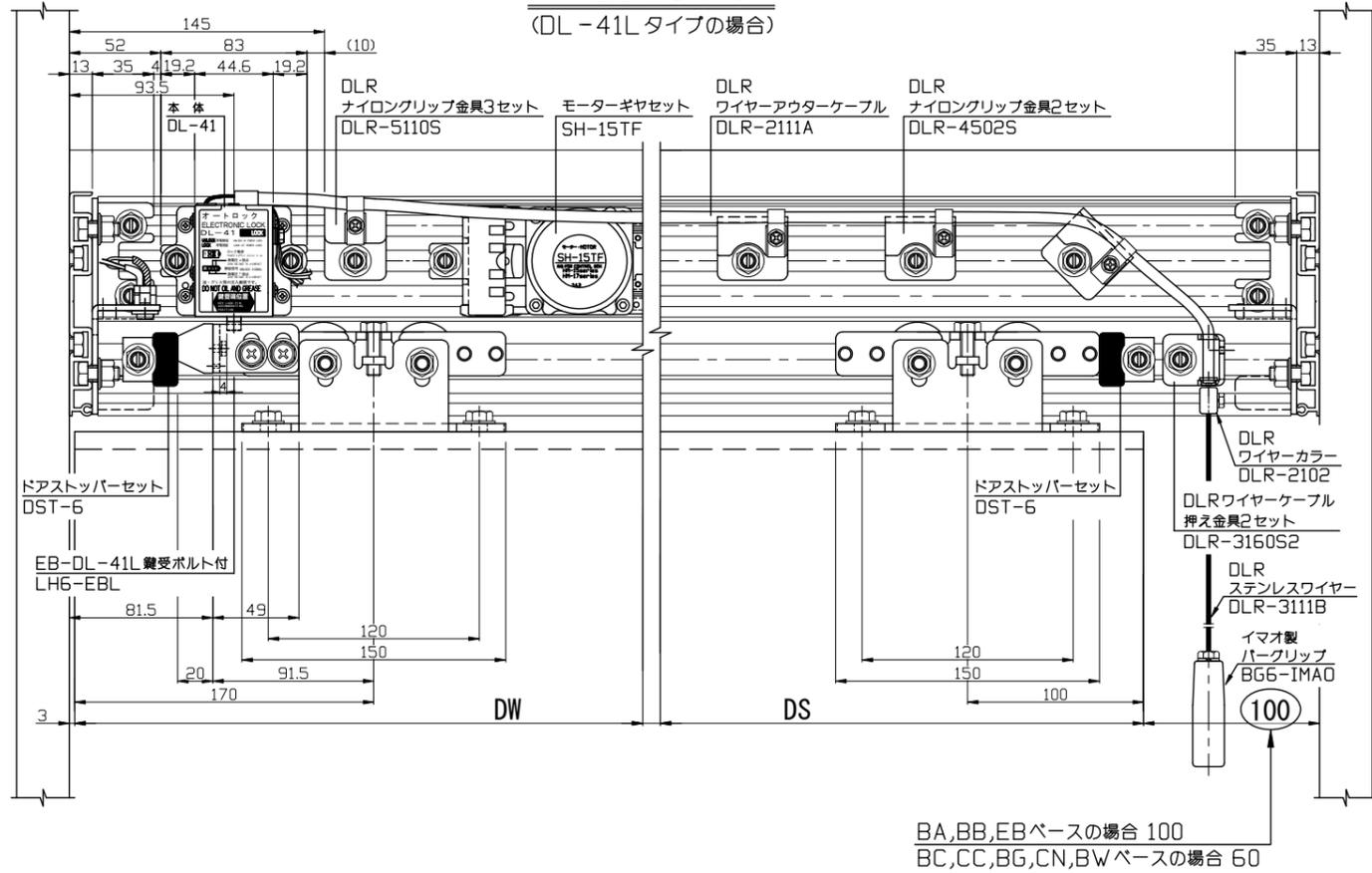
R 専用部品				対応機種				備考	
商	品	名	商品規格	数量	標準	FC・FD 片引	FC・FD 引分	DR-D 引分	
1		六角ボルト+U P・S W付クロメート	H A S W 4×25 C	1					1
2	D L R	R右フタ	D L R・4101	1					2
3	D L R	Rメインブロック	D L R・4102	1					3
4	D L R	Rサブブロック	D L R・4103	1	○	○	○	○	4
5	D L R	Rワイヤーガイドパイプ	D L R・4104	1					5
6		超極低頭小ネジ三価クロメート	M 3×25 S C	1					6
7		ステンホーローくぼみ先	H S 3×6 S	1					7

##### 3. ナイロンクリップ金具

ナイロンクリップ金具				対応機種				備考	
ベース・レール	商	品	名	商品規格	標準	FC・FD 片引	FC・FD 引分	DR-D 引分	
BA、CC BB、BG EB、CN BE、BW	1	D L R	ナイロンクリップ金具2	D L R・4502	④				1
	2	D L R	ナイロンクリップ金具3	D L R・5110	①				2
FC、FD	3	D L R	ナイロンクリップ金具FCFD用	D L R・4106FCFD		④	⑤		3
	4	D L R	ナイロンクリップ金具FCFD用2	D L R・4106FCFD2		①			4
DR	5		DRベルト受けブラケット5加工品	D R・B B K 5・D L R 0 1				④	社内加工 5
	6	D L R	ナイロンクリップ金具DR用	D L R・5112D R				①	6

○内数字は数量を表す。

● EB右引の例  
(DL-41Lタイプの場合)



10-1	EB,BCタイプ取付図		12
対応ロック	解錠型	施錠型	
手動解錠装置	可	可	
特記	1. 左モーターが標準です。 2. BA, BB, CC, BG, CN, BWも本図に準拠して取付します。		

● ワイヤークーブルの取付手順

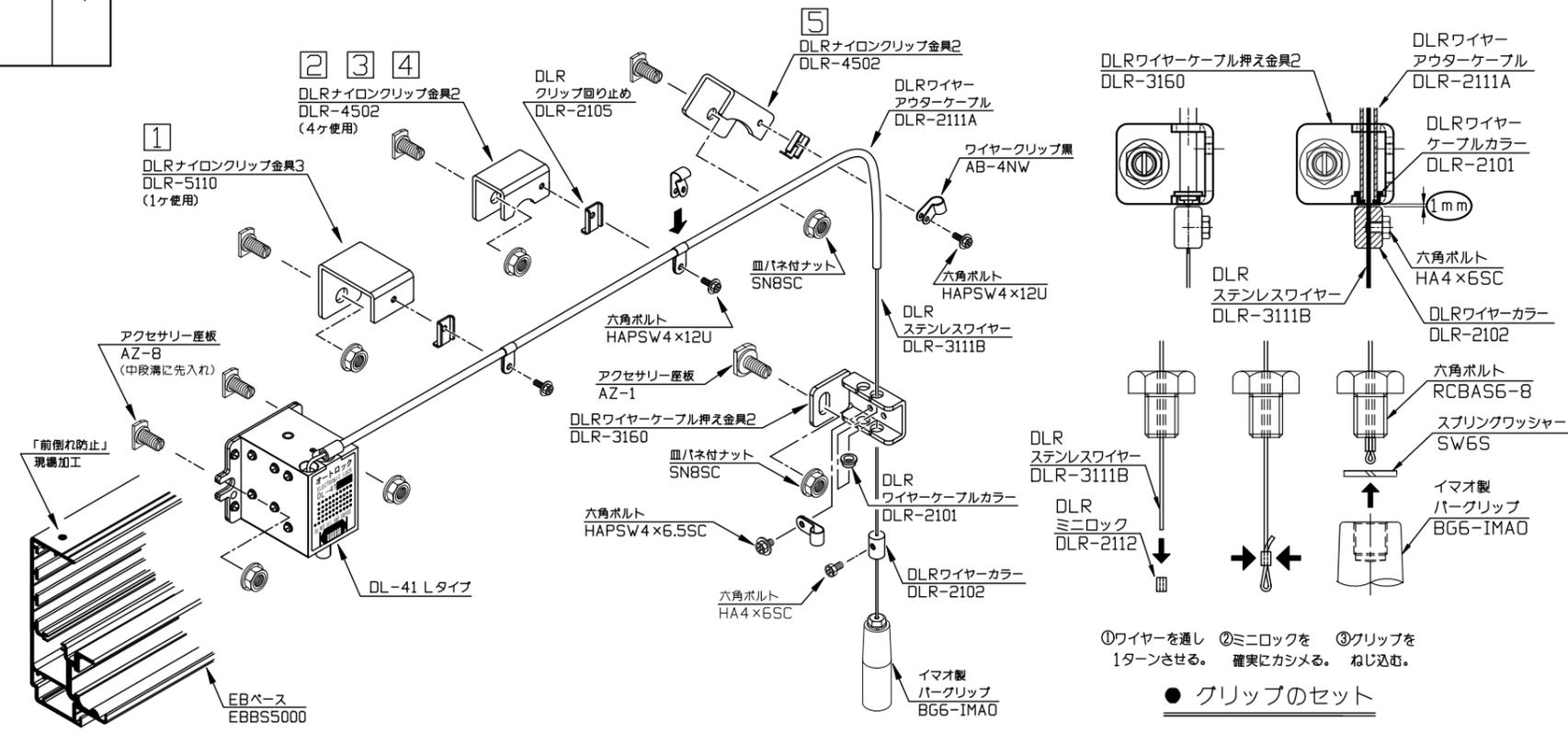
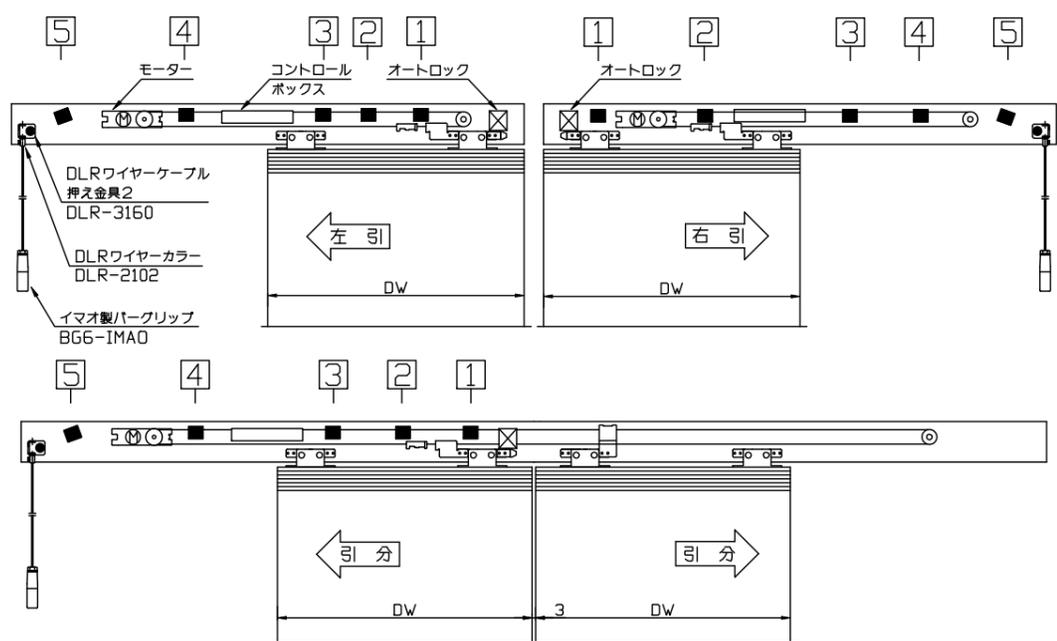
- 各ナイロンクリップ金具は勝手により ①～⑤ の配置で約500mmピッチで固定してください。  
1番端のクリップ金具・⑤は適宜角度を変えて取付けてください。
- クリップにケーブルを通し六角ボルトで固定してください。
- ワイヤークーブル押え金具をベースに固定してください。  
※ケーブルカラーはケーブルが抜けない為の部品です。
- ケーブルの端がケーブルカラーの中に納まる寸法で切断してください。  
尚、端面の内側はバリがない様に仕上げてください。  
バリがあるとワイヤーに傷を付けるおそれがあります。
- 本体から出たワイヤーをケーブルに通してください。
- ワイヤークーブルカラーにワイヤーを通して、M4ピスで固定してください。  
ワイヤーを引かない状態でワイヤークーブル押え金具2とワイヤーカラーとのスキマは1mm位にします。
- パークリップの高さを決めてください。
- ワイヤーをカットし『クリップのセット』図のようにワイヤー端を加工してください。
- どの状態でも、各機構部がスムーズに動作する事を確認してください。

● DLRナイロンクリップ金具の配置図

ベース・レール	①	品名 規格	個数	②～⑤	品名 規格	個数
BA BB EB CN BW BC CC BG		DLRナイロンクリップ金具3 DLR-5110	1		DLRナイロンクリップ金具2 DLR-4502	4

フラットバー納りで、特に変芯吊りの場合は、左図EBの位置にワイヤーを通した方がよい場合もあります。適宜ご対応願います。

クリップを引いた時にワイヤーが不用意に抜けない様、ワイヤーをミニロックに1ターンさせた後、ミニロックをペンチ等で確実にカシメてください。

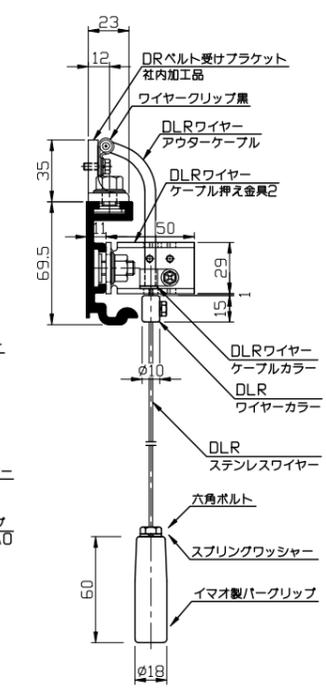
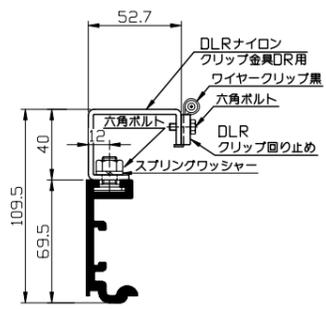
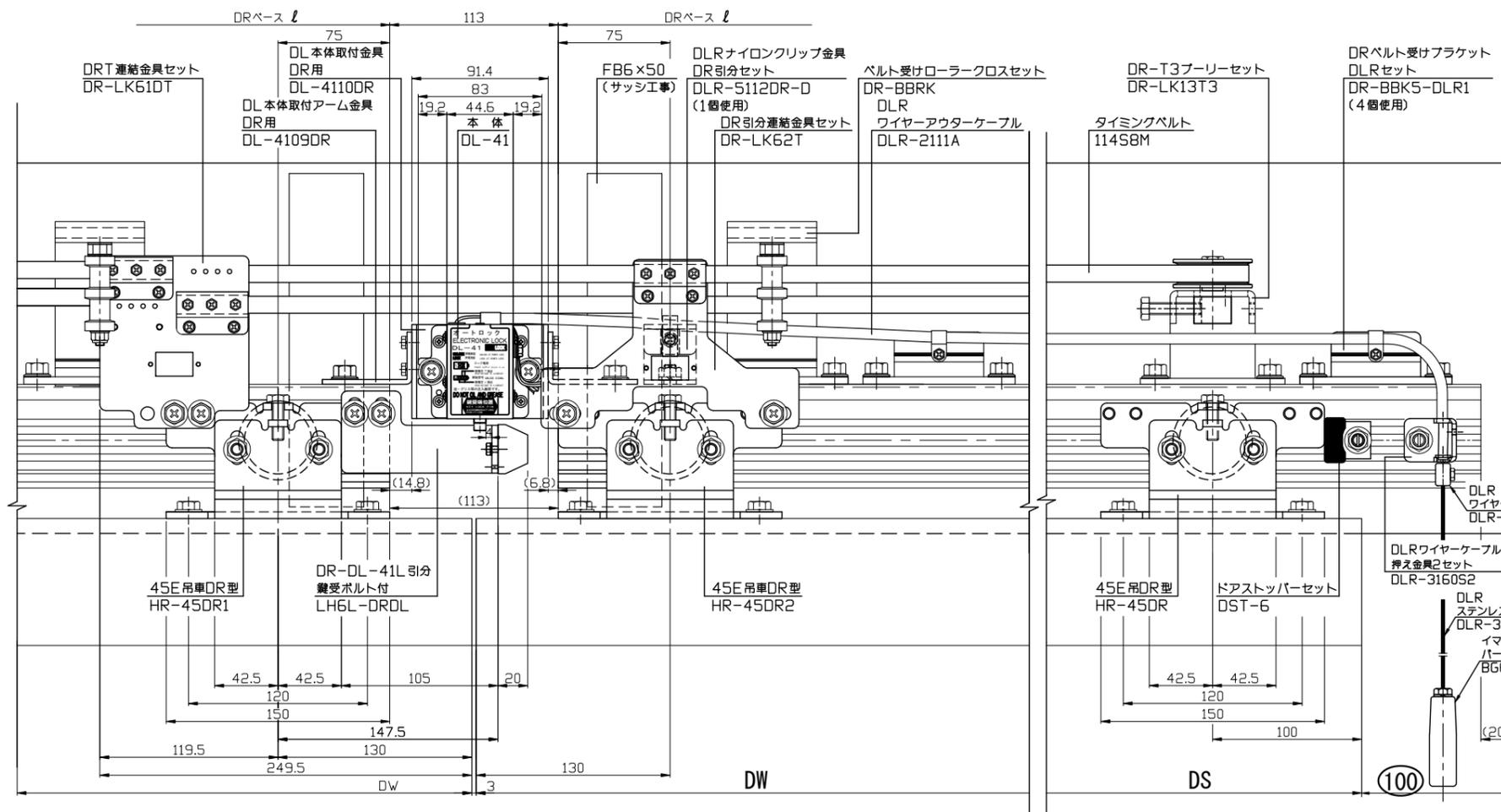


①ワイヤーを通し ②ミニロックを ③クリップを1ターンさせる。確実にカシメる。ねじ込む。

● クリップのセット



● DR引分の例  
(DL-41Lタイプの場合)



10-3	DRタイプ(引分) 取付図		14
対応ロック	解錠型	施錠型	
手動解錠装置	可	可	
特記	1. 左モーターが標準です。 2. 片引には設定がありません。		

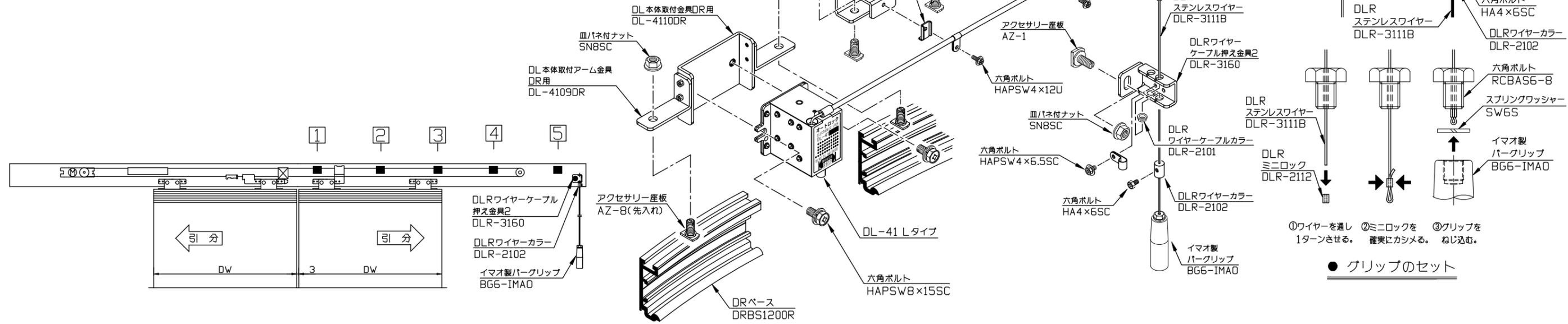
● ワイヤークーブルの取付手順

- 各ナイロンクリップ金具は勝手により ①～⑤ の配置で約500mmピッチで固定してください。
- クリップにケーブルを通し六角ボルトで固定してください。
- ワイヤークーブル押え金具をベースに固定してください。  
※ケーブルカラーはケーブルが抜けない為の部品です。
- ケーブルの端がケーブルカラーの中に納まる寸法で切断してください。  
尚、端面の内側はバリがない様に仕上げてください。  
バリがあるとワイヤーに傷を付けるおそれがあります。
- 本体から出たワイヤーをワイヤークーブルに通してください。
- ワイヤークーブルカラーにワイヤーを通して、M4ビスで固定してください。  
ワイヤーを引かない状態でワイヤークーブル押え金具2とワイヤーカーとのスキマは1mm位にします。
- パークリップの高さを決めてください。
- ワイヤーをカットし『クリップのセット』図のようにワイヤー端を加工してください。
- どの状態でも、各機構部がスムーズに動作する事を確認してください。

クリップを引いた時にワイヤーが不用意に抜けない様、ワイヤーをミニロックに1ターンさせた後、ミニロックをペンチ等で確実にカシメてください。

● DLRナイロンクリップ金具の配置図

ベース	レール	①	品名規格	個数	②～⑤	品名規格	個数
DR	引分		DLRナイロンクリップ金具DR用 DLR-5112DR	1		DRベルト受けブラケット5加工品 DR-BBK5-DLR01	4



- ①ワイヤーを通し
- ②ミニロックを1ターンさせる。確実にカシメる。ねじ込む。
- ③クリップを

● クリップのセット

